

## 新興国における医薬品材料ビジネスの潮流

## G-1 ポスト・パテントクリフの時代を乗り切る

10:45▶12:00 ために 逐次通訳 英語▶日本語

レバ ファーマケム(インド)  
マネージングディレクター Dr. グルプリート・サンドゥ

演題：「API及びジェネリックメーカーのための戦略的計画」

1. パテントクリフは、先発及びジェネリックメーカーに、いかなる影響を与えているのか？
2. APIを先発及びジェネリックメーカーに供給する際に、考慮すべき主な点。
3. 先進及び新興市場へのAPI及び製剤の供給
4. 先発、ジェネリック及びAPIメーカーに対するパテントクリフのインパクト。
5. 製薬業界の展望の変化:API及びジェネリック医薬品メーカーへのインパクト。

## G-2 国民皆保険に乗り出したインドネシア

13:00▶14:15 医薬品市場の現状と展望 逐次通訳 英語▶日本語

市川ファルマコンサルティング事務所 代表 市川 英二 氏  
デキサメディカ(株) 社長 フェリー A.スティクノ 氏

①インドネシアの製薬企業は、製薬・卸・処方薬局・薬店を包含する6,000社強の会員を有するインドネシア医薬関連企業協会(GP Farmasi Indonesia:Indonesia)の製薬部会(外資を含め230社が会員)に属す。日本の関係団体とも交流がある。大手地場企業は全土をカバーする物流組織を自社で保有し、他社品も取り扱うのが特徴。

②2014年1月から国民皆保険制度は実施に移されているが、初年度の対象者を国民の半数として、5年間で、全国民をカバーすることを目標としている。完全実施には、必要な予算の確保、医師をはじめとする医療専門家の拡充、システムの改善など、多くの課題がある。昨年一年の動きでは、保健省主導で主要薬剤の値下げが行われており、今後引き続き、同様の措置が予想される。

いろいろな解決すべき問題が山積しているが、将来的には、市場規模の拡大、国民医療水準の改善などにつながり、製薬業界としても、国の政策に協力しながら、製造・物流の両面でのサービス改善をめざし、国の一大政策に協力・対応してゆきたい。

G-3 今、注目のロシアの「医薬品の流通経路」、  
「薬事法」、そして「M&Aと市場進出戦略」  
～ロシア医薬品市場を3つの視点から解説

15:00▶16:15

逐次通訳 英語▶日本語

ロシア ファーマライセンシング グループ PLC 代表取締役 創設者  
Dr. ウラジミル クラシニコフ

世界7位の市場規模を誇り、更なる成長が期待されるロシア製薬市場は、世界の製薬企業にとっての魅力的な新市場として投資家の注目を集めています。しかしながら一方で、薬事申請における手続きの独自性やロシア国内での品質検査の義務など、海外企業にとっては進出が容易でないといった声も聞かれます。そういった中、海外企業のための薬事登録手続きや、ロシア企業とのマッチメイキング、そしてロシア国内での様々な買収案件のネゴシエーションを担当してきたロシアファーマライセンシンググループの創設者Dr. ウラジミル クラシニコフが来日。ロシア製薬市場の「現在」を解説します。